

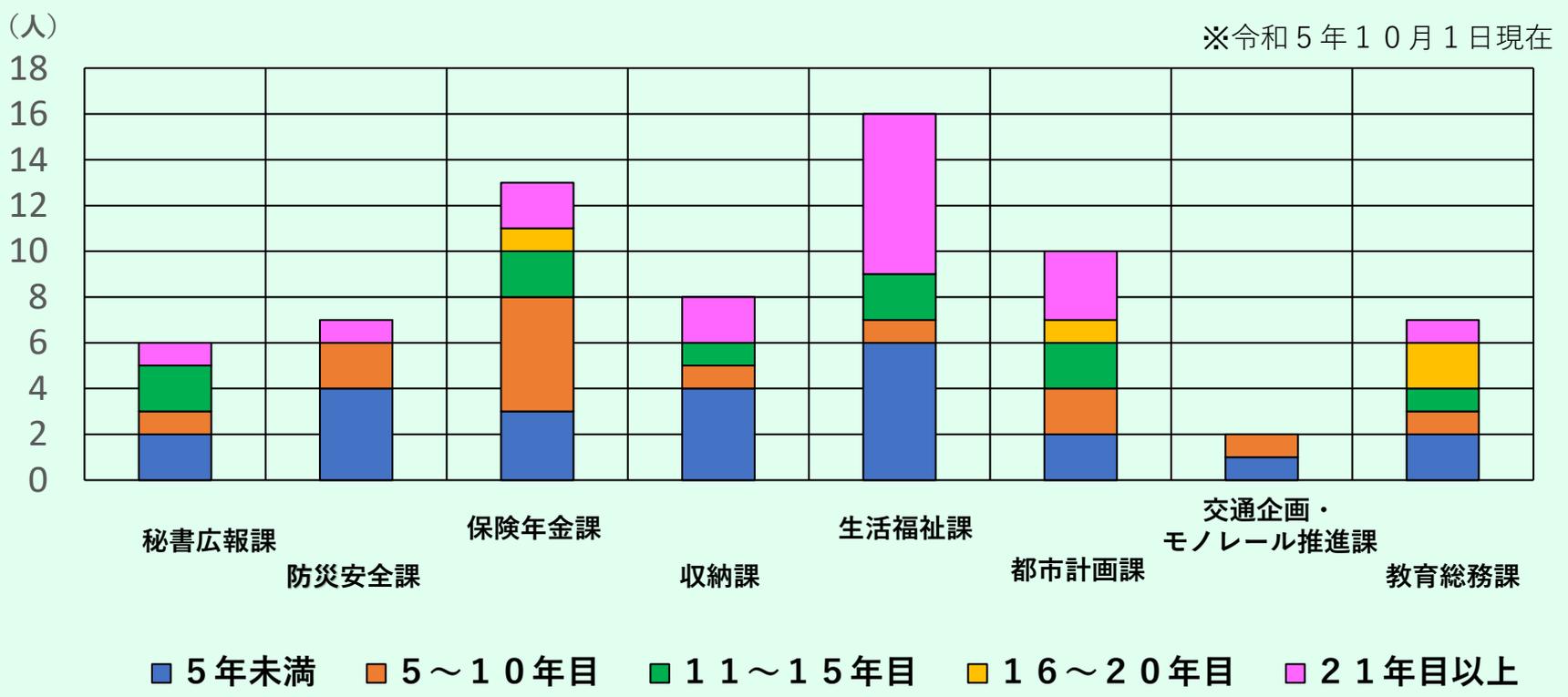
現役の市役所職員に聞いた /

# 武蔵村山市職員アンケート

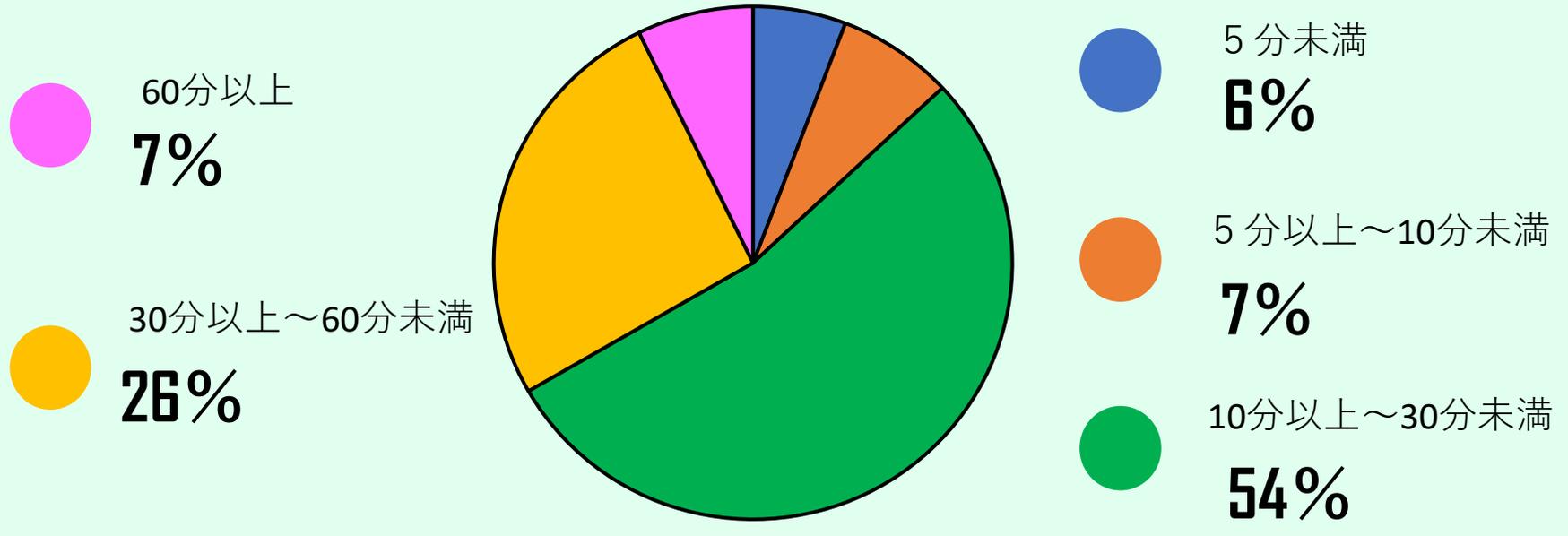
武蔵村山市の職員69名を対象にアンケートを実施しました。



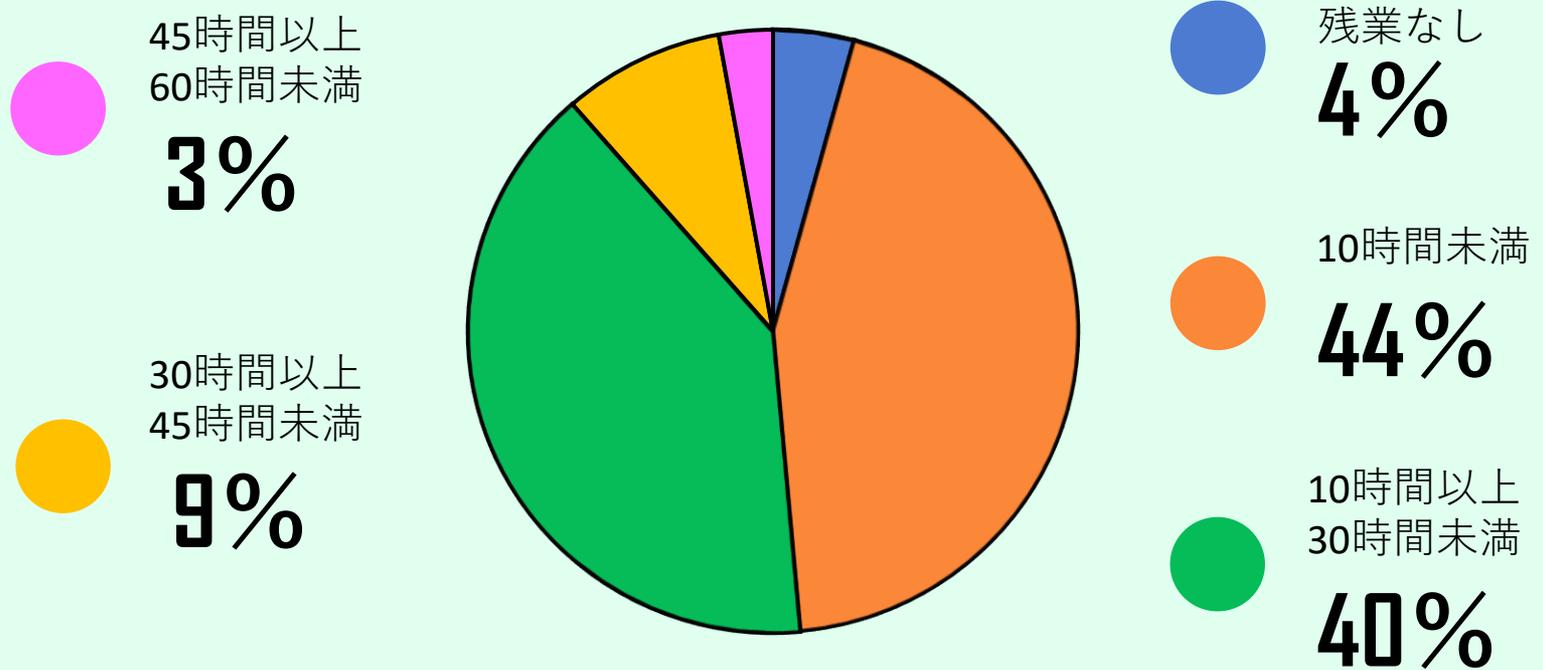
## Q1. 入庁何年目？



## Q2. 通勤に要する時間は？



# Q3. 月の平均残業時間は？



※対象期間：令和4年度中

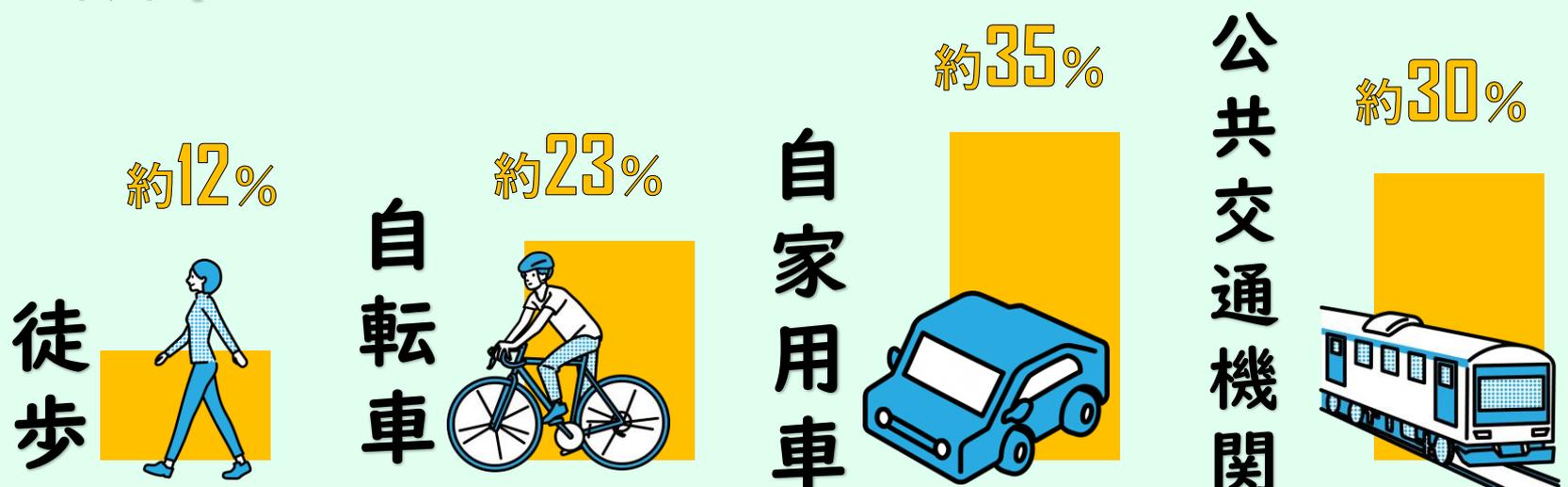
# Q4. 在住場所は？



約**42%**

約**58%**

# Q5. 通勤方法は？



# PR支援チームメンバー 一問一答



## 入庁の決め手

私と妻と子の3人で都外に住み、生活しておりましたが、互いの両親が高齢になり支援が必要になってきたことと、子供が2人、3人と増えた場合に支援してもらえる身内が近くにいる方が安心できるという理由から、私の実家と妻の実家のほぼ中間地点に位置していた武蔵村山市を志望しました。  
(20代 男性職員)



武蔵村山市が大好きであり、内定をいただいた民間企業と比較して、勤務形態が自分に合っていたため志望しました。  
(20代 男性職員)



## 武蔵村山市を選んでよかったこと

何でも話せる同期や入庁当初から変わらず優しい先輩方に出会えたことです。  
(20代 女性職員)



市民との距離が近く、様々な意見や情報をもとに、仕事に取り組むことができていることです。  
(20代 男性職員)



## 市役所で働くところがいい

ニュースや新聞等で見聞きする日本が抱える社会問題や課題に取り組むことができるので、社会や地域に対する貢献度が高い仕事だと思います。  
(40代 男性職員)



収入が安定していて、出向を除き転居を伴うような異動がほとんどないため、人生設計が立てやすいです。  
(20代 女性職員)



## 同僚との関係、職場の雰囲気

明るい職場です。みなさん優しく、話しやすい方ばかりなので相談もしやすいです。職員間の雰囲気もとても良いと思います。  
(30代 女性職員)



業務中は和気あいあいと仕事をし、業務後は上司や同僚と、食事やボーリングをしたりと楽しんでいます。  
(20代 男性職員)





# 職員課採用担当者

## 自問自答

### ワークライフバランス



妊娠中の健康診査を受ける際に取得できる母子保健休暇や体調を崩したお子さんを看護する際に取得できる子の看護休暇等の妊娠・出産・子育て支援制度が充実しており、妊娠・出産を経ても退職することなく、子育てと仕事を両立できる職場環境であると自負しています。

令和4年度実績では、職員1人の1か月当たりの時間外勤務（残業）は約14時間でした。また、武蔵村山市では過重労働を防止するため職員の1カ月の時間外勤務（残業）の上限を原則45時間としていますので、ワークライフバランスを十分に実現できると考えています。

### 仕事のやりがい



市役所の仕事は様々ですが、2030年代半ばの開業を目指している多摩都市モノレールの延伸により飛躍的に発展していく武蔵村山市のまちづくりに関わる仕事は他市では経験できないものであると考えています。

昇任試験や選考があり、能力次第で昇任できる制度が整っています。20代で係長、30代で課長に昇任するケースもあり、他自治体と比較してもキャリアアップしやすい環境であると考えています。また、係長職の3人に1人が30代の職員となっており、若手が活躍する職場です。

### 余暇のすこしかた



職場の同僚とスキーやツーリングに出かけたりなど職員同士で余暇活動を楽しんでいる方が多くいらっしゃいます。また、市の野球部等のサークルに所属することもできます。